

報道関係各位

博報堂・大広・読売広告社、3社業務提携に基づく インターネット広告企画開始について

2002年6月13日
株式会社 博報堂
株式会社 大広
株式会社 読売広告社

株式会社博報堂、株式会社大広、株式会社読売広告社は、昨年10月26日に①次世代メディアに関する共同研究・共同開発②媒体コンテンツの共同研究・共同開発③広告枠販売業務において連携する3社業務提携を締結いたしました。このたび、①次世代メディアに関する共同研究・共同開発の第一弾として、インターネット広告企画「新聞社サイト・リッチメディア企画」を実施することになりましたのでお知らせ致します。

本企画は、朝日新聞社と読売新聞社の両社のWebサイトを、初めて連動させた広告企画で、朝日新聞社の運営するasahi.com、読売新聞社の運営するYOMIURI ON-LINEの2つのサイトで、同時に同内容の広告展開を行うものです。本企画では、サイト画面全体を使用する新しいインターネット広告技術「アイブラスター」を使用し、広告インパクトのあるダイナミックで斬新な広告表現を実現します。

本企画は、すでに3社での販売を行っており、6月17日より掲載を開始いたします。

3社は、今回の企画を通じ、従来のインターネット広告の効果指標であるクリック率の向上のみならず、広告インパクトなど新しいインターネット広告の効果検証にも取り組み、検証結果を広告主、媒体社、広告会社3者の共有資産として今後のインターネット広告市場の発展のために活用していく予定です。

■「新聞社サイト・リッチメディア」企画

・掲載面

asahi.com : スポーツ面トップ

YOMIURI ON-LINE : Sporto! & スポーツ面

・掲載期間 : 2週間を1掲載単位。

2002年6月17日(月)からはじまる2週間を第1単位とし、
11月3日(日)までの合計10単位(20週間)。

・形態 : 全画面型動画広告 7.5秒

・「アイブラスター」国内独占販売元 :

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)(DAC)

■「アイブラスター」(eyblaster) 技術とは

「アイブラスター (eyblaster)」は、サイトのコンテンツがユーザーに全て表示された後、全画面型の広告コンテンツの再生を行うという技術を使っており、この際に広告コンテンツはサイト本来のコンテンツやデータにはほとんど影響を与えません。したがって、現在、広告コンテンツのデータ量の制約のある有力サイトのページにおいても、表現性の高い広告展開を可能とします。

「アイブラスター (eyblaster)」の優れた特徴としては、主として以下の点が挙げられます。

- 1) 従来のインターネット広告では難しかった広告表現力の高い全画面型の動画広告を展開できる。
- 2) フリークエンシーコントロール (表示回数のコントロール) や表示時間のコントロールなど、ユーザーのストレスを考慮できるコントロール機能を備えている。
- 3) 簡単な作業で広告枠の設定ができ、新たな広告枠を設ける必要がない。そのため複数のサイトでの同じ広告コンテンツ展開も簡単にできる。

以 上

尚、本件に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

株式会社 博報堂	広報室	寺島 二郎・宮川 尚子	電話 03-5446-6161
株式会社 大広	広報部	小林 弘道	電話 03-3437-8601
株式会社 読売広告社	秘書広報グループ	倉田 裕	電話 03-3567-8111 (代表)

また、アイブラスターに関する詳細なお問い合わせは、下記までお願い致します。

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社	島田 雅也	電話 03-5766-0645
---------------------------	-------	-----------------